

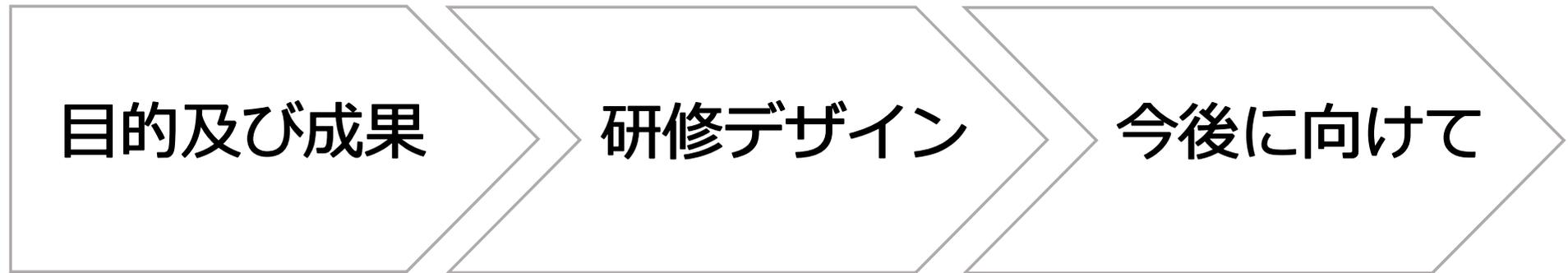
北信地区 学びの改革オンライン情報交換会

# 一人一台端末の効果的な活用

指導と評価の一体化による授業改善を通して

須坂市立東中学校 研究主任 北原大介

## 「一人一台端末の効果的な活用」



授業改善を軸としたアプローチ

## 「一人一台端末の効果的な活用」



授業改善を軸としたアプローチ

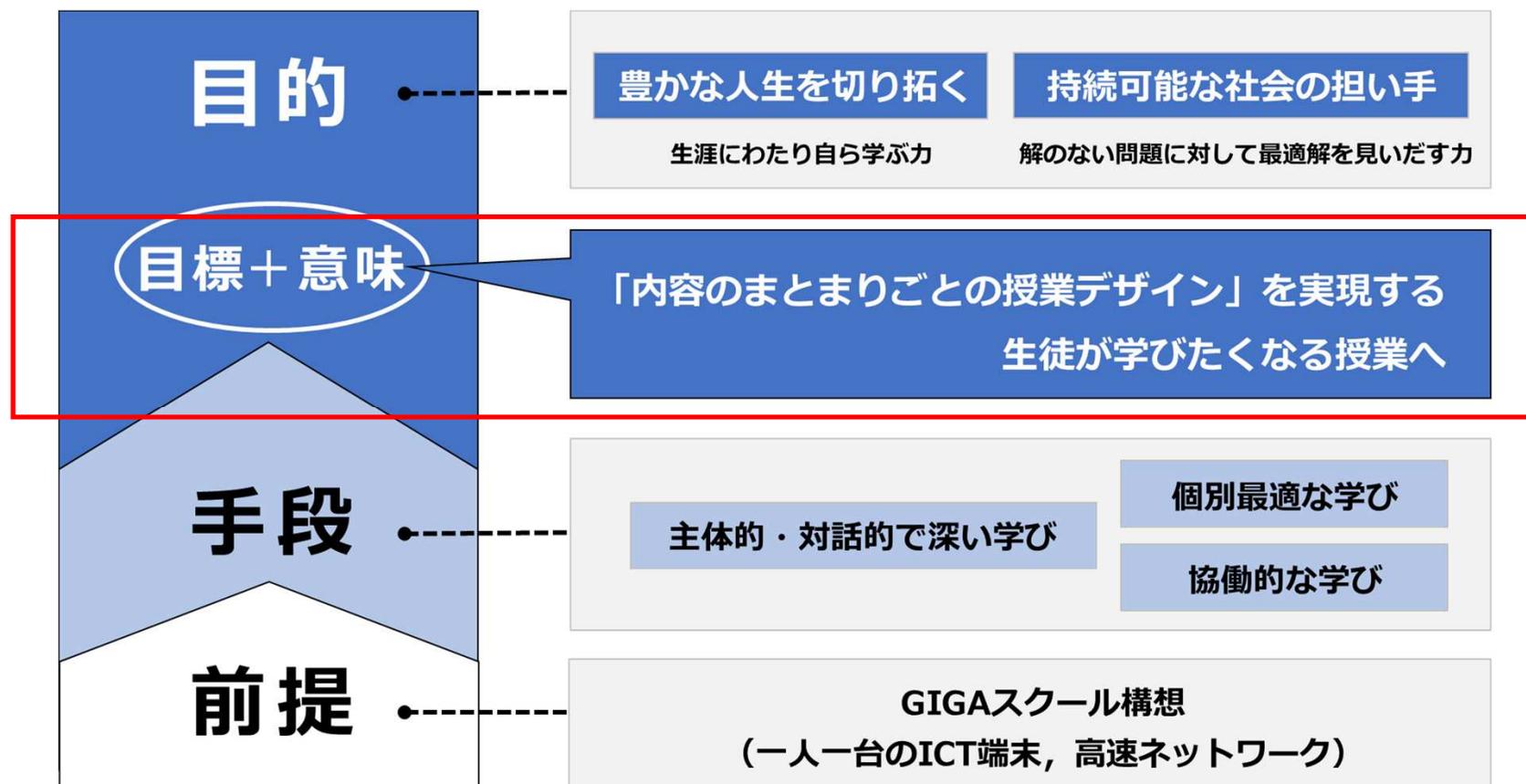
## CHAPTER 1

# 目的及び成果

- 1 目的に向かう目標と手段
- 2 成果「授業づくりの意識変化」
- 3 成果「活用場面と方法の精査」

1

# 目的に向かう目標と手段



## 2 成果「授業づくりの意識変化」

単元展開及び学習評価を軸とした授業づくり

単元を通じた学習問題

目標（評価規準）の共有

評価場面と方法の提示



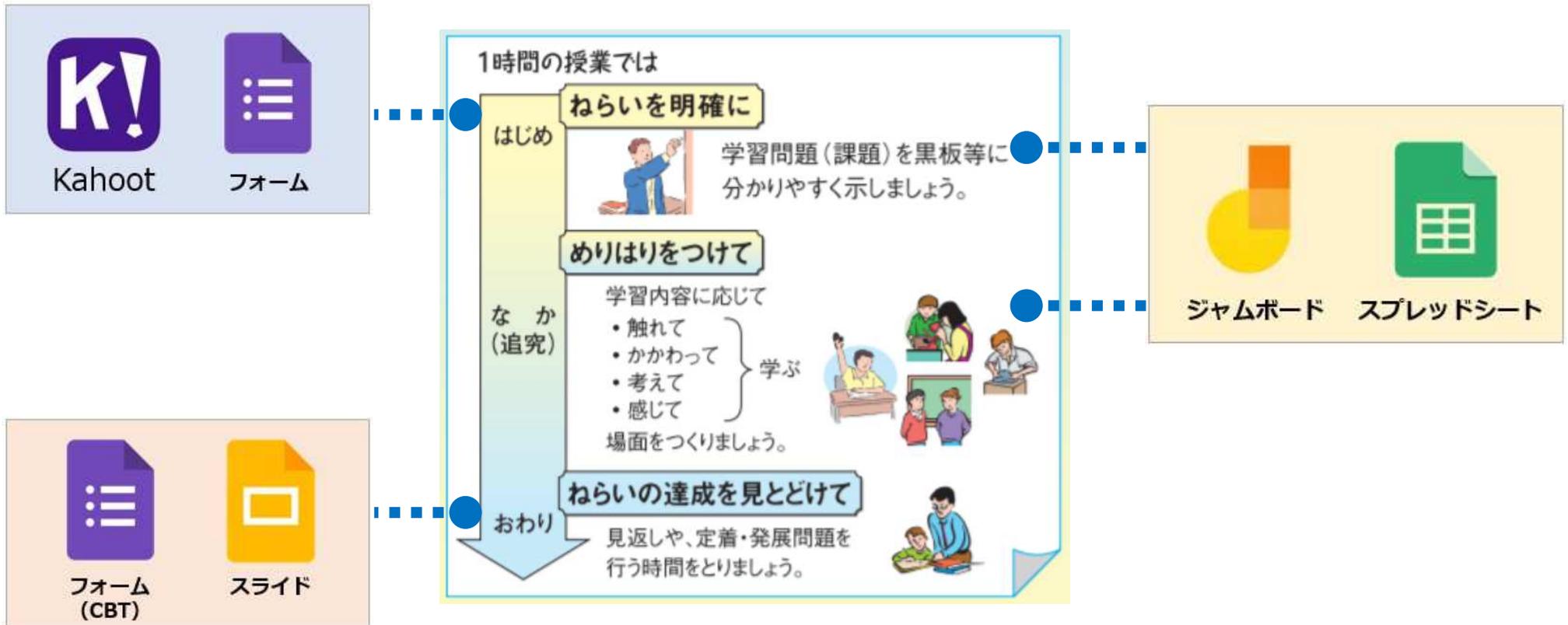
教科横断（2年 音楽）



ジグソー法（3年 技術）

学習への動機づけや必要感を支援

### 3 成果「活用場面と方法の精査」



## 導入

# 生徒の意識から学習問題・学習課題を立てる

買った「たまねぎ」はどこに保存したらいい？

15

Kahoot!

0 件の回答

▲ 室温で床に置いておく

◆ 室温でネットに入れてつるす

● 室温で日の当たる場所へおく

■ 冷蔵庫

スキップ



既有知識のうち、曖昧になっていることや  
分からないことを確認する。

食品にある表示は必要ありますか？それともないと思いますか？

必要ある

必要ない

送信

フォームをクリア

事例 1年 家庭



当たり前だと思っていることに対して、  
疑問を投げかける。

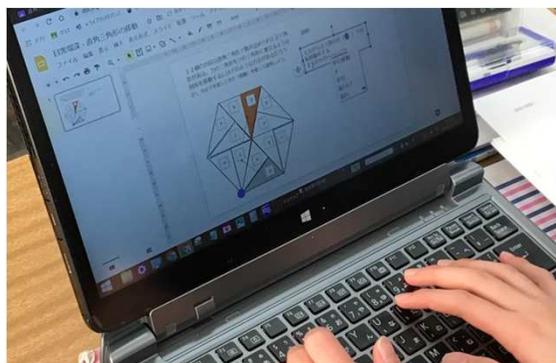
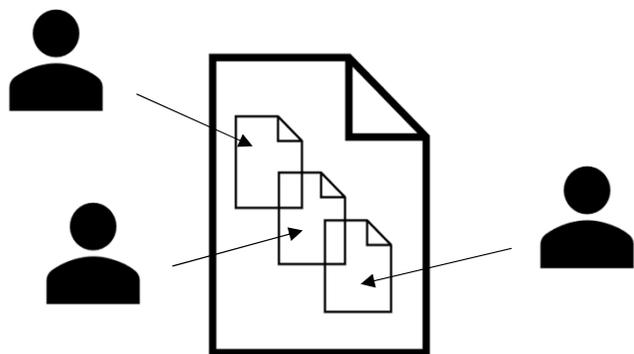
多人数であっても、拡散した考えも集約できる



# 追究

## 同時共同編集の種類を意識した活用

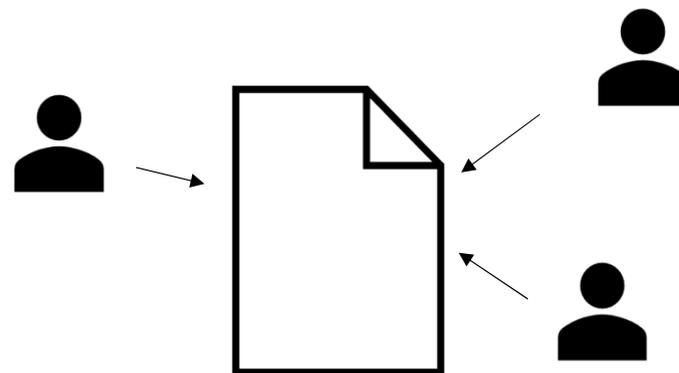
[共有ファイル 1 個別シート 3]



事例  
1年 数学

他者を参考とし、個別の追究に有効

[共有ファイル 1 個別シート 1]

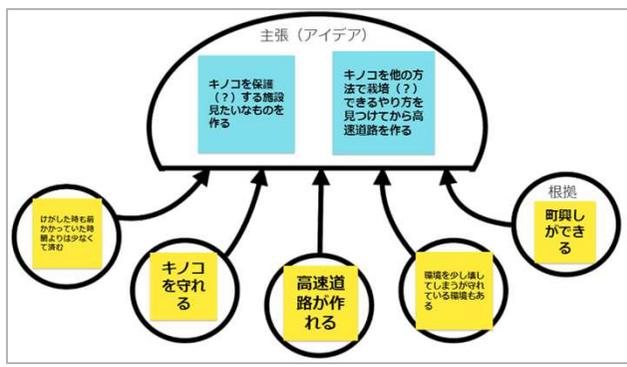


事例  
2年 道徳

自分の考えや立場を示すことに有効

# 追究

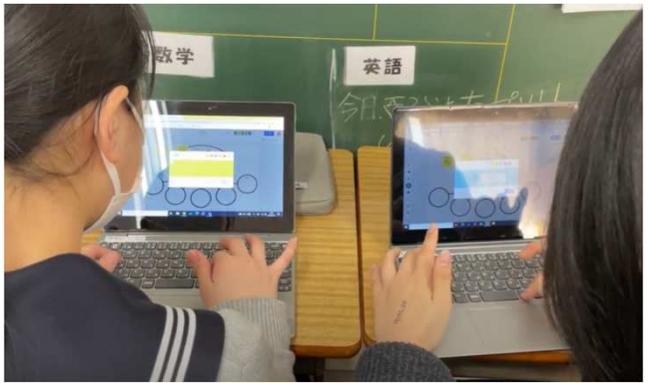
## 学び方の支援（思考スキル）



理由づける

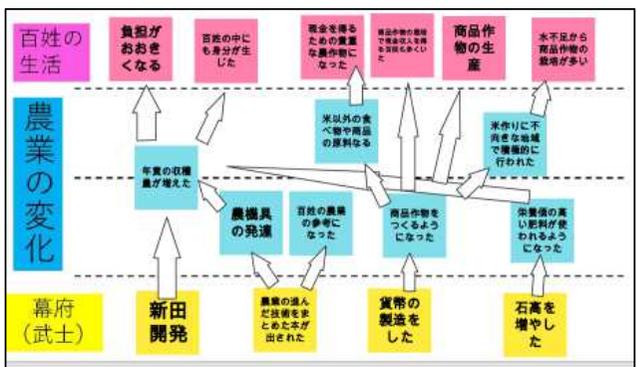


多面的に見る

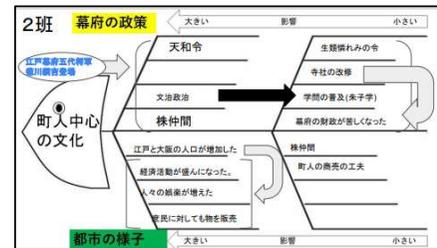


3年 道徳

学び方を自ら選ぶ生徒



関連付ける



多面的に見る



2年 社会

知識の高次化に向かう手立て



# 終末

## 習得を確認するCBT, 学習過程の見える化

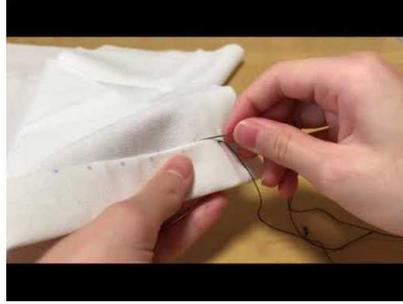
2 (4) 5ポイント

- AOBO
- AOBX
- AXBO
- AXBX

2 (5) 5ポイント

- 投票日前でも投票ができる期日前投票の制度を整えた。
- 投票日前でも棄権ができる期日前棄権の制度を整えた。
- 投票日前でも投票や棄権ができる期日前投票および棄権の制度を整えた。

次の動画は、「まつり縫い」について説明している。動画を見て、以下の問いに答えなさい。



まつり縫いの目的を考えた時に、「技能のポイント」となる説明が2カ所あるが、そのうち、1つを動画の説明文から抜き出して答えなさい。

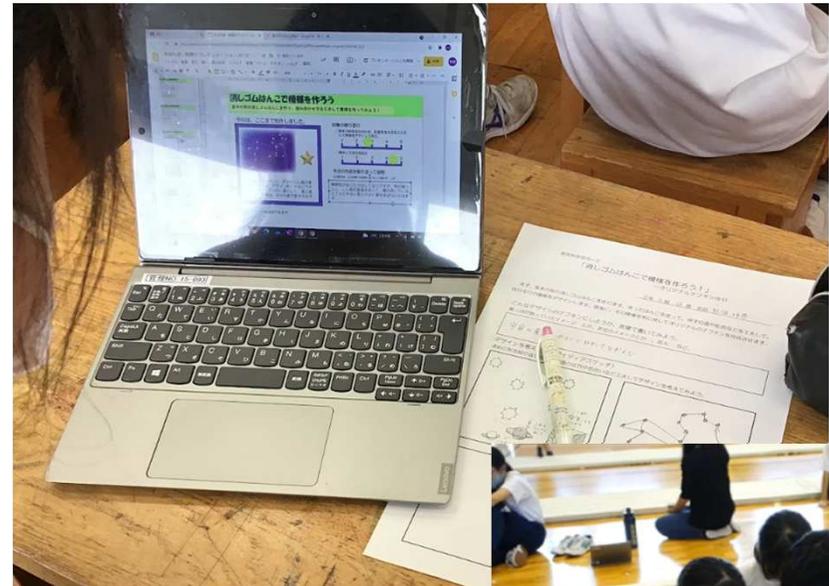
記述式テキスト (短文回答)

3年 社会

2年 家庭

知識を問う問題を中心にCBT化  
結果だけでなく、過程を問う問題も必要

何度でも取り組める保障が鍵



2年 美術



1年 保健体育

制作, 発表等, 学習課題に応じて活用

## 「一人一台端末の効果的な活用」



**授業改善を軸としたアプローチ**

## CHAPTER2

# 研修デザイン

---

- 1 自分たちで動ける仕組み
- 2 研修の見通しをもつ工夫

# 1 自分たちで動ける仕組み

## ミドルリーダーを中核とした研修体制

### 前期 若い先生方

ICTやクラウドの理解が高い

授業，業務で柔軟に活用

チーム内での情報共有  
実践例の紹介

一学期末までに全ての先生が  
クラウドベースの授業を行う

### 後期 中堅の先生方

関係調整力に長けた先生

授業改善に熱心な先生

ミドルリーダーのミーティング  
一定の権限と責任を付与

授業づくりについて活発に  
意見交換する姿が増えた

# 2

## 研修の見通しをもつ工夫

**授業構想カード**

月 日 ( ) 授業者

教科名 ( ) 単元 (題材) 名 「  
」

内容・指導項目

本時 (全 時間中の第 時) 授業学級 年 組 会場

**主眼**  
「～場面で、～に着目し、～を通して、～できる (わかる)」の書き方で記入する。  
※着目は、教科に応じて活動の前・後でよい。  
※～できる (わかる) の記述が、評価規準の B 評価となるようにする。(整合性)

**本時、育成を目指す「情報活用能力」**

**情報収集** ( )  
当ではまる箇所には○をする。

**整理・比較** ( )

**発信・伝達** ( )

**評価・改善** ( )

**本時の評価規準 方法**

本時だけで評価するのはない場合も含め、3つの観点 (知識・技能 / 思考・判断・表現 / 主体的に学習に取り組む態度) のうち、該当する評価規準と評価方法を記入する。

**手立て (Google Workspace の活用方法 等)**

Google フォーム, Jamboard, スプレッドシート, ドキュメント, デジタル教科書 等

- 「十分満足できる」状況(A)の判断(例)  
※教科の見方・考え方 (着目) に相当する内容を考える。
- 「おおむね満足できる」状況(B)の判断(例)  
※B評価を基本として考える。
- 「努力を要する」状況(C)と判断される生徒に対する手立て  
※単なる個別指導とせず、どのようなことに気付かせたり、振り返らせたりするのか、具体的な支援方法を考える。

重点：手立てとしてのICT

**授業構想カード**

11月 19日 (金) 教科名 ( 家庭 ) 授業者 ( 北原 大介 )

題材名 「18歳から“大人”！適切な消費行動をとれるようになろう」

内容・指導項目 C 消費生活・環境 (1) 金銭の管理と購入

**1 評価規準 (学習を通して到達させたい最低限の姿)**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。</li> <li>売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>

**2 指導と評価の計画 (単元・題材の学習をどう組み立てるか)**

学習活動 (丸付き数字は授業時数)	学習評価	
	つまづきと支援 (指導に生かす評価)	総括に用いる評価 (記録に残す評価)
①-1 消費者庁の動画を見て、トラブルの事例から身近な消費行動にある問題を見いだす。 題材を通した学習問題 「消費者トラブルを重ねた人にアドバイスをしてあげよう。」		
[トラブル1：無計画な購入による後悔] ①-2 収入と支出にはどのようなものがあるのかを知り、計画的な金銭管理の必要性に気付く。	・Forms (知・態)	
[トラブル2：キャッシュレス決済による使いすぎ] ②支払い方法の特徴を知り、店舗の違いによる利点と問題点を比較しながら、目的や条件に応じた選択について考える。	・学習カード (知)	・学習カード (思)

重点：指導と評価の計画

研修づくり = 授業づくり

## 「一人一台端末の効果的な活用」



**授業改善を軸としたアプローチ**

## CHAPTER3

# 今後に向けて

---

1 生徒が自ら学習を進める

2 探究的な学びの推進

# 1 生徒が自ら学習を進める

学習問題

目標（評価基準）

学習の流れ

手段

思考ツール

Google フォーム

**自** 電気の事故 ～安全に使うための技術～  
北原大介・13:44（最終編集: 14:17）

【学習問題】  
たこ足配線の何が危険なのだろう？

【目標】  
A：電気の使い過ぎという状況を説明できる。（知+技）  
B：何と比べて危険なのかわかる。（知）

【学習の流れ】

- ① 課題設定  
動画を見て、たこ足配線による事故の様子を捉える。
- ② 検証する  
Google スプレッドシート（シミュレーション）で、使い過ぎとはどういう状況か調べる。
- ③ 整理・分析  
思考ツール（ピラミッドチャート：具体化する、構造化する）で、調べたことをまとめる。
- ④ 発表  
わかったことを、全体で共有する。
- ⑤ まとめ（発展）  
Google フォームの問題を1つ考え、学習問題の結論を入力する。

 配線接続過熱事故367件 NITE... 動画	 電気機器を使うと使用電力は... Google スプレッドシート
 01.13 ピラミッドチャート(2-2) Google Jamboard	 01.13 振り返り (2-2) Google フォーム

一人一台端末とクラウドが前提にあるから可能

## 2

# 探究的な学びの推進

単元展開及び学習評価を軸とした授業づくり

単元を通じた学習問題

目標（評価規準）の共有

評価場面と方法の提示

総合的な学習の時間

異年齢集団で構成

地域・大学等との連携

カリキュラムの再構築

学び（内容・学び方）がつながる授業，学校が楽しいと思える生徒